



上越市立牧小学校

第4号

学校だより

令和3年8月1日

命を守る水泳学習 ～「自分の命は、自分で守る」～



7月7日に2年振りに子どもたちの歓声がプールに戻ってきました。

水泳学習（1・2年生は水遊び）は、息を止めたり、吐いたりしながら、水に潜ったり、浮いたりすること。クロールや平泳ぎで手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと、主に泳ぎが中心となります。しかし、何よりも大切なことは、「かけがえのない命は自分で守る」ことを学ぶことです。万が一、海や川で事故にあったときに、自分の命は自分で守らなければなりません。そのため大切な学習です。水泳学習の最後のまとめとして、服を着たままプールに入る着衣泳を行いました。着衣泳で一番大切なことは、泳ぐこ

とよりも「あわてずに、浮いて、待つ」ことです。また、おぼれている人を見かけたら、「声かけ、浮くものを投げて、救助を呼ぶ」ことです。授業では、水の中での服の重さや動きにくさを感じたり、体育着に空気をためたり、ペットボトルを抱いたりして、水に浮く体験をしました。「自分の命は、自分で守る」ことを実践した牧っ子たちでした。

最後になりましたが、1学期間、大きなけがや事故もなく、子どもたちが元気で無事に終業式を迎えることができたのも保護者の皆様、地域の方々のお陰だと思っています。本当にありがとうございました。また2学期からもよろしくお願いいたします。

各学年の総合的な学習の時間、生活科の活動を紹介します

地域の方々からご協力いただき、子どもたちは、学校の内外で楽しみながら、一生懸命に取り組みました。

1年生 学校・友だち・先生・あさがおと なかよし



1年生は、「がっこうたんけん」「ともだちとなかよし」「せんせいとなかよし」「わたしのあさがお」という楽しい活動をとおして、学校生活に少しずつ慣れることができました。

特に、「せんせいとなかよし」では、休み時間に先生方の所に行って、自己紹介をしたり先生方の名前や好きなものを聞いたりしました。その結果、学校に対してもっと親近感をもつことができました。



「わたしのあさがお」では、美しい花を咲かせてほしいという願いを込めながら、毎日のお世話をがんばりました。少しずつ大きくなっていくアサガオの観察を通して、葉っぱや花の感触、色などについてたくさんの発見をすることができました。

2年生 学校を飛び出し「町たんけん」とほくのわたしの「やさい作り」



2年生は、「町たんけん」と「やさい作り」の活動を行いました。

「町たんけん」では、みんなで話し合い、探検する場所を決め、探検の計画を立てました。いろいろな施設や場所に行き、インタビューをしたり、写真を撮ったりしました。調べたことをまとめて、ポスターを作りました。



「やさい作り」では、育てたい野菜を図書室で調べて、野菜作りに挑戦しました。地域の方に協力していただいて畝を作り、種を蒔いたり、苗を植えたりし、愛情をこめてお世話をしました。苗の背丈が大きくなったり、花が咲いたり、実をつけたり、日々変化していく野菜の姿に感動し、喜びを感じました。もうすぐ、収穫最盛期を迎えます。

3・4年生 牧 すてきな場所・すてきな人・すてきな自分



3・4年生は、春から牧の「すてき」を見つけるために探検してきました。はじめは、学校のまわりから「弘法清水自然公園」「歴史民俗博物館」「高尾の大ケヤキ」…と足をのびしていきました。「弘法清水自然公園」に行ったときには、自然いっぱいの中で、冷たい湧き水を触ったり、生き物を捕まえたり、写真を取ったりしながら、楽しく「すてき」を見つけました。お店やお寺に行った際には、お仕事への思いや店の歴史など、たくさんの質問に答えていただきました。どの方も笑顔で優しく答えてくれ、牧には、いろんなお仕事をがんばっている人や優しい人がたくさんいることが分かり、嬉しくなりました。そして、自分たちも「すてきな自分」を目指して、道中出会った方々に「こんにちは」と元気にあいさつしたり、メモをたくさんとったりと頑張っています。2学期は探検を続けながら、「すてき」を伝える活動をしていきたいと思っています。

5・6年生 本物体験から学ぶ



今年度の総合的な学習の時間は、地域で活躍されている方やお仕事をされている方々を訪問し、実際に体験をさせていただいたり、お話をうかがったりしています。

「よもぎの会」の方が、行っている味噌作り体験では、大豆をつぶすところから体験しました。アスパラ畑見学では、実際に収穫をしたり、販売用に長さを整えたりしました。「金井重機」さんでは、いろいろなところで活躍する重機や車両のことを学びました。

これらの体験や見学を通して、どの方も仕事をする上で大切にされていることがたくさんあることに気付きました。2学期からもたくさんの体験や見学を通して、学びを深めていきたいです。

牧振興会様より牧区の敬老会で高齢者の皆様に配付するメッセージ作成の依頼がありました。子どもたちから「いつまでもお元気で」「いつもありがとう」など心温まるメッセージを牧区のおじいちゃん、おばあちゃんに届けていただいたところ、「うれしくてメッセージを抱きしめています」の電話やメッセージを書いてくれた子どもへの感謝のお手紙をいただきました。子どもたちの心と牧区のおじいちゃん、おばあちゃんの心がつながり、とてもうれしくなりました。ありがとうございました。



チャンスな夏休み&チャレンジする夏休み、そして…

7月21日で、72日間の1学期が終了しました。あっという間だったように思えます。コロナ禍であっても、子どもたちのいろいろなことにチャレンジする姿、自分の課題達成に向け、一生懸命がんばる姿がたくさん見られました。とても充実した1学期でした。

子どもたちが、楽しみにしている夏休み。夏休みは、普段と違った体験をする中で、成長するいい機会〔チャンス〕です。夏休みにしかできない挑戦〔チャレンジ〕をして、楽しい思い出をたくさん作って欲しいと思います。そして、夏休みのチャンスとチャレンジを2学期の成長〔チェンジ〕につなげて欲しいと願っています。

また、長い休みですので、生活のリズムをこわさないよう規則正しい生活〔早寝、早起き、朝ご飯〕を心がけてください。夏休みに入ると気分が開放的になりがちですので、学校のきまりをしっかり守って、生活できるようによろしくお願いします。

8月26日の2学期始業式には、47人全員が、一回りたくましく成長した姿で、元気な顔で再会できることを楽しみにしています。

夏休みに向けて、以前、本で読んだ言葉を紹介します。

【子育て4訓】

- 1 乳児はしっかり肌を離すな
- 2 幼児は肌を離せ、手を離すな
- 3 少年は手を離せ、目を離すな
- 4 青年は目を離せ、心を離すな

小学校の子どもたちは、「肌を離せ、手を離すな」「手を離せ、目を離すな」の時期でしょうか。それぞれの子どもの成長過程で、親として子どもと向き合い、共に成長することを求められている言葉のように感じます。

子育ては、この4つの言葉で言い尽くせるものではありません。ただ、ご自分の子育てを見直すヒントになる言葉かもしれません。子どもと接する時間が増える夏休みだからこそ、お子様との関係について、この言葉を参考に考えてみてください。



8・9月の予定

今後変更される場合があります

8/10日(火) 学校無人化 ~13(金)

21日(土) PTAクリーン作戦

26日(木) 2学期始業式

給食後下校

27日(金) 第2回学校運営協議会

30日(月) 牧っ子チャレンジウィーク~9/5(日)

上教大教育実習~9/17(金)

9/2日(木) 全校朝会

委員会

9日(木) クラブ

15日(水) 授業改善支援訪問

17日(金) 保小中合同避難訓練

28日(火) 歯科検診

30日(木) 第5・6学年修学旅行
~10/1(火)

今月のことば：「父は子どもの敬の的 母は愛の座」 安岡 正篤